

西日標



御沙汰書

去ル六月二十日當聯隊區徵兵署開設第一日生駒郡
郡山町徵兵署ニ於テ侍從武官陸軍砲兵中佐町尻量
基氏ヨリ左ノ優渥ナル御沙汰ヲ拜受セリ各徵兵署
ニ於テハ何レ徵兵官ヨリ傳達アルヘキモ豫メ本紙
上ニ掲ケ以テ會員諸君ト共ニ其ノ喜ヲ頌ツ事トセ
リ御沙汰ノ全文左ノ如シ

天皇陛下ニ於カセラレテハ國軍ノ根源ヲ徵
兵ノ事ニ深ク大御心ヲ注カセ給ヒ今度第十六
師管内徵兵署ヘ侍從武官ヲ差シ遣ハシ其ノ狀
況ヲ實視セシムヘキ旨
御沙汰アラセラル

右ニ對シ徵兵官首座ノ奉答セル要旨左ノ如シ
優渥ナル御沙汰ヲ拜シ一同感激ノ至ニ堪ヘス爾今
益々奮勵盡忠奉公ノ誠ヲ致シ以テ聖旨ニ應ヘ奉ル
覺悟ヲ御座イマス

簡閱點呼號

在郷軍人學科問答集 (承前)

二、充員召集

問 充員召集ノ心得
答 充員召集ハ何時令セラレハシ
モ連リ連シ命令一下直ニ應召シ
生命ヲ抛ツテ軍事ニ竭スハ陛下
股肱タル軍人ノ本分ナリ之ガ爲
ニハ平常軍人精神ノ鍛錬軍事能
力ノ増進ニ努メ身體ヲ強健ニシ
家事ニ精勵シ所在ヲ明ニシ當ニ
有事ノ日ニ備フルノ覺悟ガ必要
ナリ一度召集令狀ヲ受ケテカ必
令父母妻子如何ニ備ムトモ又
何ニ生活ニ窮スルトモ時々又其
身ニ百戰百勝ヒ来ルトモ決シテ躊
躇スルコトナク直ニ應召セラル
ヘカラス召集ニ際シ父母妻子ノ
愛情ニ遠シ召集ノ期ニ後レ又ハ
不慮ノ事アラシカ不思不慮ノ極
ニシテ會ニ一身ノ恥辱タルノミ

ナラス子々孫々ニ至ルマテ此汚
名ヲ雪クコト能ハサルヘシ
問 召集セラレタル者召集ニ因リ
家族力自活シ能ハサルトキノ處
置如何
答 市長又ハ町村長及警察署長ヲ
經テ召集部長ニ願出テマス但
シ軍事救護其他ノ方法ヲ講スル
モ生活ヲ得サル者ニ限リマス
(兵役法第六十三條召集規則第
二十五條)
問 令狀又ハ召集ノ通報ヲ受ケル
モ疾病ノ爲指定ノ日時に到着地
ニ到ルコト能ハサル時如何ニ
スルヤ
答 聯隊區司令官ニ宛テタル願書
ニ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ直ニ之ヲ
本籍地市町村長ニ差出シマス
(召集規則第五十一條)

(七) (召集規則第四十九條)
問 前項ノモノ事故止ミタル時ハ
如何
答 本籍地市町村長ニ届出テ直ニ
召集事務所(召集事務所閉鎖後
ナルトキ又ハ集合場ニ集合スヘ
キトキ)直ニ召集部長ニ至リ
届出テマス(召集規則第五十一
條)
問 傳染病預防ノ爲交通遮斷隔離
又ハ停泊命セラレ他已ムテ
到着地ニ到ルコト能ハサル時ハ
如何ニスルヤ
答 聯隊區司令官ニ宛テタル願書
ニ直ニ本籍地市町村長(出發後
ナル時ハ召集事務所ヘモ)ニ差
出シ且ツ其他ノ支應長市町村長
憲兵警察官吏船長又ハ驛長ノ體
面書又ハ驛長ノ證明書ヲ受ケ置
キマス(召集規則第四十九條)
問 前項ノ事故止ミタル時如何
答 本籍地市町村長ニ届出テ直ニ
召集事務所(召集事務所閉鎖後
ナルトキ又ハ集合場ニ集合スヘ
キトキ)直ニ召集部長ニ至リ
届出テマス(召集規則第五十一條)

三、演習召集
問 演習召集ノ心得
答 克ク軍紀風紀ヲ守リ専心軍
ニ精勵シ軍人精神ノ鍛錬シ活
務演習ヲ修得シ現役兵ニ活潑
ナルシテ演習召集ノ目的ヲ
フルベシ
問 令狀又ハ召集ノ通報ヲ受
モ疾病ノ爲指定ノ日時に到着
ヘ到ルコト能ハサル時如何
ニスルヤ
答 直ニ聯隊區司令官ニ宛テ
願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ本
籍地市町村長ニ差出シマス
寄留地ニ於テ召集ニ應ズル
可ク受ケタル者ハ寄留地市
町村長ニ差出シマス(召集規則
百二十五條)
問 令狀ヲ受ケタル者直ニ應召
子死亡又ハ同一戸籍内者
死亡又ハ重傷又ハ本人身火
災損失又ハ倒壊其他重大害
害に到リ到着期日ノ延期スル
トスル者如何ニスルヤ
答 聯隊區司令官ニ宛テ願書
ニ市町村長ニ差出シ直ニ系
長軍醫又ハ同一戸籍在ル

者ノ重傷ニ係ルトキハ醫師ノ診
斷書其他ノトキハ市町村長憲兵
又ハ警察官吏ノ證明書ヲ添ヘ
テ)寄留地ニ於テ召集ニ應ズヘ
キ許シテ受ケタル者ハ寄留地ノ
聯隊區司令官ニ宛テ寄留地ノ市
町村長ニ差出シマス(召集規則
百二十七條)
問 應召員ノ願書ニ添付スル醫
師ノ診斷書ニ具備スヘキ要件如
何
答 病名原因經過現症療法詳細
シ自己ノ疾病ニ係ル診斷書ニア
リテハ特ニ到着地ニ到ル事能ハ
サル理由ヲ明ラカニ書カネバナ
リマセン醫師ノ診斷書ヲ要スル
場合ニ於テハ又ハ警察官吏ノ證
明書ニ憲兵又ハ警察官吏ノ證明
書ヲ以テ代替スル事能ハス(召
集規則第二十三條)
問 過クヘカササル事故終期ノ明
瞭ナル官又ハ公共ノ事業等ノ爲
止ナキモノノ爲演習召集ノ延
期ヲ願出スル手續如何
答 其事實ヲ證明スル願書ニ本籍
地市長又ハ町村長及警察署長ヲ
經テ聯隊區司令官ニ願出テ許可

本年の徵兵検査は長くも第一日に於テ侍從武官の御差遣を
被リ優渥なる聖恩を拜受したる關係により、又一には時局
の爲め壯丁一般に志氣緊張しある爲めか受檢壯丁の状態は
今迄若干徵兵署を見た經驗から推察すれば概して可なりと
思ふ。昨年本聯隊區は忌避の疑あるもの七名の多きを算し
たのである。本年は未だ検査の初期で全般を推知するのは
早計であるが今迄は斯るものは一名もない。當然の事なり
とは云へ誠に喜ばしい何卒分會員各位の検査前に於ける徹
底的訓話により本年は何卒此の思むべき行為者の絶無なる

在郷軍人全國大會並視察に關する
普及協議會
去る六月二十五日午後一時より奈良聯隊區司令部に於テ奉
天在郷軍人全國大會に支部代表として参列せられたる島
崎中尉以下十一名は左の事項を協議可決せり。
其普及事項
一、滿洲國承認ノ速進
二、四頭政治ノ統一(總督若クハ統監ヲ設置)
三、兵力不足ニ依リ治安維持ノ不安
四、移民(政府)方針決定、補助、移民者ノ決心
五、滿洲國ノ發達ヲ援助ス
其二普及方法
一、在郷軍人會ヲ主トシ一般民衆ヲ次トス
二、在郷軍人ニ對シテハ第一次分會長(成ルヘク班長以上
役員ニ普及ス)
三、總會記事ヲ「大和錦」ニ掲載ス
四、受領印刷物中會員相互ニ必要ト認ムルモノハ代表者及
支部ヨリ印刷配布
以上



てに陵北天奉同一者列參會大國全人軍郷在

徵兵署を視察して感あり
本 多 中 佐
本年の徵兵検査は長くも第一日に於テ侍從武官の御差遣を
被リ優渥なる聖恩を拜受したる關係により、又一には時局
の爲め壯丁一般に志氣緊張しある爲めか受檢壯丁の状態は
今迄若干徵兵署を見た經驗から推察すれば概して可なりと
思ふ。昨年本聯隊區は忌避の疑あるもの七名の多きを算し
たのである。本年は未だ検査の初期で全般を推知するのは
早計であるが今迄は斯るものは一名もない。當然の事なり
とは云へ誠に喜ばしい何卒分會員各位の検査前に於ける徹
底的訓話により本年は何卒此の思むべき行為者の絶無なる

!! 在郷軍人會館建設寄附金に就て!!
支部
當支部の在郷軍人會館寄附金は配當額壹萬壹千參百四拾
五圓餘に對シ未納額計四千參百四拾九圓餘あり。此れを全
國的に見れば依然成績不良の状態なり。即ち全國約八十の
支部中完納支部約半分を算シ當支部は依然後尾より十何位
にある成績なり。時節がら仲々至難なる事業ではあるが何
卒一日も早く完納方に關し切に御配慮を望む。

軍人會館建設資金寄附金一覽表
昭和七年六月六日調
奈良支部

區分	配當額	出金額	未納額	會員外寄附
聯合別				
奈良市	一、八〇〇	一、九〇〇	一〇〇	
生駒郡	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	
磯山郡	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	
高市郡	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	
宇陀郡	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	
北葛城郡	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	
南葛城郡	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	
宇智郡	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	
高田郡	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	
高田郡	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	
計	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	

昭和七年七月一日印刷
昭和七年七月五日發行
發行部 奈良支部
印刷部 吉村印刷所
定 價 部金壹圓五厘
廣告料 毎月一回發行
發行部 奈良支部
印刷部 吉村印刷所

問 各兵科既教育第一補充兵ノ召
集回数
答 第一回第四年二十一日
問 召集回数ノ標準年次ノ關係
答 召集回数ハ後備後備後通
シ標準年次ニ應ズルヘキモノニシ
テ召集セラレタル場合ニハ適宜
ノ年ニ召集セラル
問 寄留地ノ軍隊ニ於テ演習召集
ニ應ズル時ノ手續如何
答 前年十一月三十日迄に到着
スル如ク寄留地ノ市長又ハ町村
長及警察署長ヲ經テ寄留地ノ聯
隊區司令官ニ願出テ許可ヲ取



分会の活動

山邊郡 都介野村分会
五月四日吉田分会長は同村出身者慰問のため奈良及京都の各部隊に出張せり。同月十三日同村宇白石に在る國津神社境内に於て吳海兵團退團歸郷者の歓迎式を舉行せり。

磯城郡 田原本町分会
五月三日同町分会主催となり防空思想普及講演會並に映画會を繰座に於て舉行せり。同月五日同町分会事務所に於て分会役員會開催せり。同月十五日同町小學校に於て軍艦三笠保存會を舉行し尙多々谷海軍中佐を講師として招聘し講演會を開催せり。同月十三日縣招魂祭舉行せらるゝに於て分會長及旗手此れに參列す。同月廿四日歩兵第三十八聯隊軍旗祭に分會長及旗手參列す。

柳本町分会
五月三日同町出身在營兵太田善壽郎氏上海出征の所凱旋せり。引き續き勳章下賜五十週年記念祝賀會を舉行せり。五月十三日縣招魂祭に分會長及旗手參列す。同月十四日原町主催による同町宇陀高等女學校に於て三笠艦保存會講演會實施せらるゝに於て陸軍省に送附せり。

香久山村分会
四月二十四日同村小學校に於て同村出身戦病死者の招魂祭を舉行せり。五月三日同村出身在營兵慰問のため分會長以下役員一行は奈良歩兵第三十八聯隊に出張す。

櫻井町分会
五月十二日同町小學校に於て講師海軍中佐多々谷勝美氏を招聘し三笠艦保存會講演會及映画會を舉行せり。同月十一日和歌山衛成病院附看護兵行



碑魂忠村原豊

町小學校に於て勳章下賜記念祝賀會及分會春季總會とを實施し尙同村出身戦死者の招魂祭を同町役場に於て舉行せり

宇陀郡 榛原町分会
四月二十三日同町第一小學校を集合場とし假設勳章を舉行せり。引き續き勳章下賜五十週年記念祝賀會を舉行せり。五月十三日縣招魂祭に分會長及旗手參列す。同月十四日原町主催による同町宇陀高等女學校に於て三笠艦保存會講演會實施せらるゝに於て陸軍省に送附せり。

北葛城郡 聯合分会
六月六日同郡馬見村分会の事務檢閲のため聯合分会理事出張せり。

五位堂村分会
五月十八日同村役場に於て分会役員會を開催せり。五月二十四日歩兵第三十八聯隊軍旗祭に於て内陣三勇士の活動寫眞會を開催し、此れより得たる利益金を恤兵寄附金として陸軍省に送附せり。

下田村分会
五月十五日同村鹿島神社に於て分会第六回武道競技會を行ふ出場者二五名、主として銃劍術試合を行へり。尙當日二、三等級の資格を選手に與へ午後一時より同四時終了す。五月二十三日より二十九日迄奉仕週間の事業として全分会役員は遺族の慰問をなせり。同月二十七日海軍記念日に際し同村内一般に國旗掲揚すべし旨宣傳せり。同日三笠艦保存會の寄附金募集を各班に受持ち實施す。

内牧村分会
四月三十日榛原町に於て聯合分會長會議舉行せらるゝに於て宮田分會長此れに出席す。五月二日松枝班員班長以下二十名は大阪毎日新聞社並に造幣局を見學せり。同月十三日縣旗兵會主催招魂祭執行に當り宮田分會長は分會旗手同伴此れに參列せり。同月十五日同村出身兵東峯一等水兵滿期退營の處同村分会員は榛原停留場に出席せり。同月廿五日同村分會副會長は京都、奈良同村出身在營兵慰問のため三日間出張せり。同月廿六日各會員に在郷軍人門標の配布をなしたり。

伊那佐村分会
四月十六日同村山路小學校に於て勳章下賜五十週年記念として忠魂碑除幕式を舉行せり。

高市郡 高取町分会
四月五日同町役場に於て分会役員會を開催せり。同月二十

以上既教育者
一等二十五點 稻田勝信
二等二十點 石田義秋
三等十六點 浦西留春
以上未教育者
同日午後三時より分會春季總會を開催せり。同日午後七時より上海、滿洲事變活動寫眞會開催せり。觀衆約七百名。

東市村分会
四月二十四日同村小學校に於て忠魂碑設置場同村白毫寺の忠魂碑長上田一郎氏より松樹を獻ぜられたるため班長以下十一名此れを移植するため出動せり。

帶解町分会
五月二十日同町小學校講堂に於て凱旋兵歡迎祝賀會を開催せり。

大柳生村分会
四月二十四日午後一時より同村小學校に於て勳章下賜五十週年記念祝賀會を開催せり。

片桐村分会
五月三十日午後一時三十分より同村役場に於て入營兵告別式を舉行せり。

本多村分会
五月五日同村小學校に於て招魂祭を舉行す。引き續き思想普及講演會を開催せり。

法隆寺村分会
五月二十七日同村分会事務所に於て現役軍人家族慰安會を開催せり。

郡山工場分会
六月三日同工場従業員の春委慰安旅行實施せらるゝに於て分會役員此れが援助をあたへたり。

治道村分会
四月十六日同村小學校に於て同村出身戦病死者の招魂祭を舉行せり。同月十九日より二十二日に至るまで日本赤十字社々員募集に努めたり。同村小學校運動場移轉に伴ひ忠魂碑の移轉に就き役員以下努力し二百日餘に於て此れを完成せり。

奈良市 椿井分会
四月一日第一小學校に於て分会役員會を開催せり。同月四日五日の兩日に互に役員總出で青年訓練所援助として各區内の入所該當者の家庭を訪問せり。四月十五日第一小學校に於て分會理事會を開催し現分會長三橋作平氏任期満了に付改選の申出により後任者の選出に於て協議せり。同月二十二日同校に於て分會長選舉に付分會役員會を開催せり。三橋作平氏任期満了なるに選舉の結果更に同氏選任せられたり。同月二十四日、二十五日の兩日第二第五兩小學校に於て聯合分会主催の勳章下賜五十週年記念事業としての防空思想普及並に講演活動寫眞會を開催せらるゝに於て分會役員此れに加はり援助を與へたり。五月十三日縣招魂祭に分會長及旗手參列す。同月二十二日第一小學校に於て分會役員會を開催せり。五月廿四日歩兵第三十八聯隊軍旗祭に分會長同副會長及旗手參列す。同月二十五日第一小學校に於て出征兵士家族慰安會を開催せり。

月潮村分会
四月二十六日同村出身戦病死者招魂祭を同村忠魂碑前に於て舉行せり。後遺族九名に對し慰安會を催したり。參列者四五一名尙同村小學校に於て昭和七年度春季總會を開催せり。參會者一二七名。

五ヶ谷村分会
四月十六日午前九時より藤原射撃場に於て分會射撃會を開催せり。午後一時半終了射撃距離三百米。
一等 三十四點 安多繁太郎
二等 三十三點 西森 太三
三等 三十一點 岡本 義信
四等 三十點 福田貞治郎
五等 三十點 倉本淺治郎

吉野郡 小川村分会
四月九日同村分会事務所に於て分會役員會を開催し、忠魂碑建立事業遂行の件二、滿洲事變活動寫眞會の活動寫眞會に就き協議せり。同月十七日同村第三小學校に於て退營兵の歓迎會を舉行せり。

宇智郡 牧野村分会
四月廿四日同村牧野小學校に於て勳章下賜五十週年祝賀會を開催せり。

吉野郡 小川村分会
四月九日同村分会事務所に於て分會役員會を開催し、忠魂碑建立事業遂行の件二、滿洲事變活動寫眞會の活動寫眞會に就き協議せり。同月十七日同村第三小學校に於て退營兵の歓迎會を舉行せり。

大淀町分会
五月十九日同町第二小學校分會場に於て三笠艦保存講演會

井澤式教練銃
三八式歩兵銃代用
一洲上海
一事多難ノ秋
直進ル幾多ノ美談ヲ募ル
(井澤銃報詳載)

井澤銃砲製造所
所製銃器
銃修部製造
銃修部製造
銃修部製造

井澤銃砲製造所
所製銃器
銃修部製造
銃修部製造
銃修部製造

井澤銃砲製造所
所製銃器
銃修部製造
銃修部製造
銃修部製造

井澤銃砲製造所
所製銃器
銃修部製造
銃修部製造
銃修部製造

井澤銃砲製造所
所製銃器
銃修部製造
銃修部製造
銃修部製造

井澤銃砲製造所
所製銃器
銃修部製造
銃修部製造
銃修部製造

井澤銃砲製造所
所製銃器
銃修部製造
銃修部製造
銃修部製造

豫備役陸軍歩兵大尉
辯護士 柏原清吉
大阪市西區土佐堀二丁目十番地
(大阪朝日新聞社西區三丁築前橋南詰)
(市電下車停留所 渡邊橋 又ハ田寶橋)
電話土佐堀五三二番
(在郷軍人各位ノ乞御後援)

登錄 軍隊酒保納入
清涼劑 福仁
外優良賣藥
十數方製劑
キ、メで
惚れられ
印ですかれ
同じ賣るなら
ふくやの藥

光榮 最大 最古
全國司令部ノ御證明賜ハル
製造高壹百萬挺突破
創立明治二十五年

井澤式教練銃
三八式歩兵銃代用
一洲上海
一事多難ノ秋
直進ル幾多ノ美談ヲ募ル
(井澤銃報詳載)

井澤銃砲製造所
所製銃器
銃修部製造
銃修部製造
銃修部製造

大峯山へ御登山の
節は是非とも弊館へ
紀の國屋甚八
別館 清風亭
電話洞川九番
館主 紀林治孝

陸軍御用
各時計貴金
多賀時計店
町水清下市長寄
番一九〇一話

陸軍御用
各時計貴金
多賀時計店
町水清下市長寄
番一九〇一話